

朝日財産区

管理委員の選任

朝日財産区管理委員の選任について、只見町議会6月会議において同意がなされ、次の7人が新委員に選任されました。

また、辞令交付は、8月5日に只見町役場町下庁舎で行われました。任期は令和6年8月1日から4年間です。

○朝日財産区管理委員（敬称略）

- ・大塚純一郎（会長）
- ・横山 平
- ・菅家 達朗
- ・齋藤 博俊
- ・酒井 仁
- ・酒井 敏紀
- ・目黒 直也



▲新たに管理委員に選任された皆さん

まちづくりの人材確保のため

「オンライン町村役場見学ツアー」開催

公務員に関心のある学生や社会人に向けた「オンライン町村役場見学ツアー」が8月20日に実施され、只見町を含めて10町村の紹介が行われました。

この事業は、福島県が町村職員の採用活動を支援するもので、各町村のPRや職員の仕事内容紹介を行い、将来的な職員確保を目的としています。

只見町の紹介では県外出身の若手町職員が、只見町で働こうと思ったきっかけなどを視聴者に向けて伝えました。



▲これから進路を決める高校生や大学生の方が視聴しました

只見町で進路を考えるキッカケに

「只見高校企業説明会」実施

町は「只見高校企業説明会」を8月20日に実施しました。

企業説明会には只見高校生13人が参加し、永洗建設株式会社、南会津地方広域市町村圏組合消防署只見出張所、株式会社社会津工場、株式会社季の郷湯ら里、介護老人保健施設こぶし苑（社会福祉法人南会津会）、只見町役場を訪問しました。

同企業説明会は、これからの進路を考える高校生が、町内にどんな企業があり、どのような業務を行っているのかを知り、只見町で就職するキッカケづくりを目的としています。



▲今年新たに開所した消防署で仕事の説明を受けた高校生

地域農業の担い手不足解消のため

「只見町新規就農相談会」開催

町は、新規就農希望者の就農・移住相談のための「只見町新規就農相談会」を8月17日に、埼玉県羽生市のイオンモール羽生で開催しました。これは地域農業の担い手の確保を目的に、就農支援や移住支援のPRを行うものです。

相談会には、現在移住を検討している方が訪れた他、只見線に興味がある方などが訪れました。

また、ブース訪問者にはブナりん」と記念撮影や只見町の特産品などを景品としたガラポンで広く町のPRを行いました。



▲就農や移住の説明を聞くブース訪問者

モンベルとの包括連携協定事業 カヤック&サイクリングガイド育成講習会実施

株式会社モンベルと町は令和4年8月に包括連携協定を締結しています。アウトドアツーリズム（旅行者自身が実際に参加・体験することを目的とした旅行）の推進と安定した受け入れ体制の確立に向けた取り組みとして、日本レクリエーションカヌー協会（JRC A）公認指導員講習（カヤックガイド講習）とサイクリングガイド講習を実施しました。

カヤックガイド講習は7月9日、10日の2日間で行われ、町内の8人が参加しました。1日目は、カヌー・カヤックの基礎的な知識や公認指導員の役割について、また安全管理などの講習が行われた後、実際にカヤックを使用した実技講習を行いました。2日目は、JRC A公認指導員の筆記試験及び実技試験が行われ、参加者全員が合格しました。



▲講習を受ける参加者



▲カヤックで実技を行う参加者

サイクリングガイド講習は7月23日、24日で行われ、町内の5人が参加しました。1日目は、交通法規や自転車に実践乗車し、ハンドサインや集団走行体験などを行いました。2日目は、メカニカルスキルアップ講習を行い、自転車のタイヤ交換や走行前点検を学びました。その後、ガイドとしてサイクリングコースの企画力を高めるために、2班に分かれてそれぞれが設定したモデルコースの魅力や見どころなどの解説を行いました。また、講師を務めたサイクルアドバイザーの小口良平氏を交え、それぞれのコースの評価や、意見交換を行いました。

今回の講習会を通して、カヤックや自転車を活用したアウトドアツーリズムの受け入れ態勢の整備を進めていきます。



▲サイクリングコースを企画する参加者



▲タイヤ交換を行う参加者